

指定管理業務評価表

施設名	大城児童館		
対象年度	25年度	評価担当部	こども未来部
指定管理者名	特定非営利活動法人10人村		
指定期間	H25年4月1日～H29年3月31日		
職員体制	常勤職員 5名（兼務2名含む） 臨時職員 13名（兼務5名含む） 合計 18名		

1. 利用実績

(1) 利用者数

月	4	5	6	7	8	9	
人数	4,622	5,153	5,829	6,143	6,226	5,741	
月	10	11	12	1	2	3	合計
人数	6,055	5,896	5,231	5,424	5,153	6,491	67,964

(2) 増減要因

24年度より25年度は利用者が855人増加している。増加の理由は、ちびっ子広場、えいごであそぼなどの講座の充実により、子育て親子の利用が増えたことが要因と考えられる。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	H25.10.21～H25.11.20（共通） H25.9（独自） H26.1（独自）	回答数	41人（大人） 80人（小中学生等） 78人 98人
利用者の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しく過ごせる場所。親も家にこもっているより楽しく過ごせます。 ・親と子どもと一緒に楽しめ、お友達もできる遊び場。幼稚園に入る前にお友達とのかかわり方や生活も覚えられる。 ・子ども同士ゆずりあいなど、家には学べないことが学べる。 ・リトミックやえいごであそぼ等、もっとたくさんあるとうれしいです。 ・小さい子の部屋や工作する場所で子どもやママと話しをする機会を意識して作って頂きたいです。 		
具体的な対応状況	アンケートの意見を踏まえながら、対応できるところは対応し、より利用しやすい児童館づくりを継続する。		

3. 収支の実績

(単位：円)

		24年度 (前年決算額)	25年度 (現年決算額)	26年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収入	指定管理料	35,900,000	33,800,000	34,000,000	年間委託料
	雑入	1,226	200		預金利子等
	精算による返還金	△ 7,036	△ 467,081		修繕費・雑入の返還
	合計	35,894,190	33,333,119	34,000,000	
支出	人件費	22,357,720	23,298,491	23,455,929	職員給与
	報償費	449,000	390,000	450,000	講師謝礼
	旅費	48,400	43,880	40,000	交通費・研修参加費
	需用費	3,827,488	3,658,532	4,038,000	児童館活動費等
	役務費	920,569	930,102	939,750	保険料等
	委託費	2,128,214	1,643,645	1,686,331	清掃委託・警備委託等
	その他	3,479,961	3,368,469	3,389,990	間接費・使用料等
	合計	33,211,352	33,333,119	34,000,000	
差し引き収支		2,682,838	0	0	

4. 評価

項目	市の評価
運営業務	<p>仕様書、事業計画書に基づき概ね適正に実施されている。</p> <p>また、日常の来館者への対応や行事・イベントが適切に実施され、地域や関係団体との連携した事業展開も見られた。</p> <p>行事・イベントについては、利用者の増加が見られたが、児童の健全育成や子育て支援の観点から必要と思われるものは、前年度の結果にとらわれず、実施内容等を精査したうえで継続的に実施していくことを期待する。</p>
維持管理業務	<p>駐車場、敷地内及び館内の日常清掃・定期清掃が実施されており、施設、設備の保守管理（点検や修繕等）についても適切に行われている。エレベーターに安全装置を設置し、利用者の安全に努めた。</p> <p>また、乳幼児が利用する玩具や部屋などは、口に触れてもよい安全な薬品で定期的に消毒がされており、適正な維持管理として評価できる。</p>
サービスの質	<p>職場内外研修等をとおして職員全体のスキルアップを図り、利用者の満足度の向上に努めているが、今後は、研修の年間計画を作成するなど、研修体制の充実を図ることに努めていただきたい。</p> <p>利用者からの意見・苦情に対しては、概ね適切な対応がとられているため、より快適な施設運営に一層の努力を行っていくことを期待したい。</p> <p>子育て支援室について、量的な面に加え、質的な面での関わりを重視するサービスに力点を置き、利用者のリピーター化・定着化を図るように努めていただきたい。</p>
収支状況及び経費節減	<p>資金管理については、効率的に経費が使用されており、概ね計画通りの収支状況となっており、コスト削減にも努めている。</p>
その他（緊急時の対応等）	<p>消防・防災訓練を適正に実施している。</p> <p>危機管理マニュアルが整備、保管されており、ヒヤリハットは情報を全職員で共有し、適切な処置を行っていることは、適正な緊急時の対応等として評価できる。</p>